



# 植物や地質を学びました!

☆青森県立郷土館の自然観察会が開催されました☆

2021.10.17 (日) 10:00~14:30

たかし

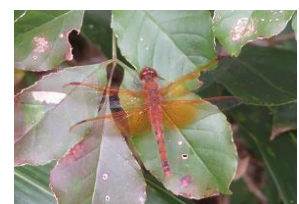
青森県立郷土館の島口天さん(地学専門)、太田正文さん(植物専門)、片山卓思さん(動物専門)が講師となり、六ヶ所村の自然を学ぶ観察会が開催されました。鷹架野鳥の里森林公園では太田さんと片山さんに動植物の解説を、猿子沢地区の露頭では島口さんに地質・地形の解説をしていただきました。



太田さんによるオオモミジの解説。鋸歯の違いで種類を見分けるそうです。



アキグミの実を食べてみました。強烈な渋みに、皆さん驚いていました。



ホコリタケやキトンボも観察できました。



約12万年前に海成段丘面が形成され陸地化したことを解説する島口さん。



露頭を削る参加者。クロスラミナや約11万年前の洞爺火山灰などが観察できました。



露頭の近くには日本三大民間薬のひとつであるセンブリが自生していました。強い苦みが特徴で胃腸薬として使われています。

参加者より：身近な自然を学べて良かった。もっと六ヶ所村について知りたいと思いました。